

[学術論文]

同訳表現と名詞形：「～の理由で」と
by reason of X / for reasons of Y の場合
Equivalent expressions and noun forms:
the case of *by reason of X / for reasons of Y*

日 本 満
Mitsuru Hiki

要旨 本稿では、英語では異なっても日本語では同じ訳になる表現（同訳表現）を、日本人英語学習者が意図的に使い分けられるようになるためには、訳以外に何を拠り所にすべきか、を検討した。

具体的な同訳表現としては、一般に「～の理由で」と訳される *by reason of X* と *for reasons of Y* の2表現を取り上げた。「～の」の部分に相当する、“X”と“Y”に着目し、コーパス分析を行った結果、XとYの意味構造も名詞の形（名詞形）も大きく異なることが明らかになった。

名詞形の違いから同訳表現の差異を明らかにする可能性を示すとともに、従来の辞書での “*by reason of …*” や “*by reason of O*” などにおける “…” や “O” の表記の問題点を指摘し、単に前置詞の目的語として “…” や “O” で置き換えて表記するのではなく、目的語の部分にどのような意味構造の名詞句が求められていて、どのような名詞形を用いるべきか、の情報も明記すべきであると主張した。

キーワード： 同訳表現、名詞形、*by reason of*、*for reasons of*

1. はじめに

英語では異なる表現でも、日本語に訳すと同じになるということはよくある。そのような表現を「同訳表現」と呼ぶことにすると、訳以外の“なにかの差異”を見出さないかぎり、意図的にその同訳表現を使い分けることはむずかしくなる。

例えば、「ジーニアス英和辞典第4版」には、*reason*の項で、次の2表現が成句として以下のように提示されている。

by reason of O 《正式》<事>の理由で、…のために (*because of*) 〳

He was dismissed *by reason of* his old age. 彼は高齢のために解雇された。

for reasons of O 《正式》<事>の理由で (because of) Ⅱ

resign for reasons of health 健康上の理由で辞任する (= resign for health ~ s) .

どちらの表現とも「<事>の理由で」の訳が付され、“because of …”とも同義(もしくは類義)であり、かつ、レジスター的にもどちらも《正式》となっていて、酷似している。同時に、この2表現には前者はby、後者はforであるという前置詞の違いに加え、名詞REASONが前者は不可算形reasonで、後者は複数形reasons という違いに気づかせてくれる。しかし、それがなぜかを推測することはこの説明や例文からだけではむずかしい。REASONを複数形にするか否かは、“by reason of …”と“for reasons of …”をそれぞれ成句として覚えてしまえば問題はない、という議論もなりたつが、仮にそうだととしても、表現する立場に立てば、自分が言いたいことを、“by reason of …”と“for reasons of …”のどちらを用いて表現すべきか、という問題は依然として残る。

そこで本稿では、日本語訳で差異を記述しにくい同訳表現の例として、一般に「…の理由で」と訳される “by reason of …” と “for reasons of …” の2表現を取り上げ、その表現に含まれる名詞の形(名詞形)に着目し、その違いを分析することにより、同訳表現の背後にある差異を明らかにしてみたい。

なお、本稿で「名詞形」とは、 \emptyset reason (不可算形), a reason (可算・単数形), \emptyset reasons (可算・複数形)の3つに加え、theがつく the reason, the reasons、さらに、one’sがつく one’s reason, one’s reasonsを含む、計7つの形とする。また、by reason ofに続く名詞句をXで表わし、for reasons of に続く名詞句をYで表わし、[by reason of X], [for reasons of Y]と表記する。

以下では、まず、問題の2表現が辞書でどのように紹介されているかを概観し、差異が明確になっていない現状を指摘する。次に、2表現のofの目的語の名詞句(X, Y)に着目してコーパス分析を行い、X, Yの中心となる名詞の名詞形の違いの考察を基に、2表現の差異について仮説を提示する。

2. 辞書データの分析

英和辞典、英英辞典がby reason of と for reasons of の2表現をどのように記述しているかを概観するため、以下の英和辞典と英英辞典を参照した。表1は各辞書の記述をまとめたものである。

- ジーニアス英和辞典 第4版(以下、ジーニアス4)
- ロングマン英和辞典(以下、LEJD)
- 新英和大辞典 第6版(以下、新英和6)
- ランダムハウス英和大辞典(以下、ランダムハウス)
- ウィズダム英和辞典第2版(以下、ウィズダム2)

表1 by reason of と for reasons of の辞書記述

	by reason of	for reasons of
ジーニアス4	by reason of O 《正式》<事>の理由で、 …のために (because of) Ⅱ <i>He was dismissed <u>by reason of</u> his old age.</i> 彼は高齢のために解雇された。	for reasons of O 《正式》<事>の理由で (because of) Ⅱ <i>resign <u>for reasons of</u> health</i> 健康上の理由で辞任する (= resign for health reasons) .
LEJD	by reason of sth <<フォーマル>> <…> を理由として、のために： <i>Geiger was found not guilty <u>by reason of</u> insanity.</i> 精神障害を理由にガイガーは無罪判決を受けた。	for reasons of sth <<フォーマル>> <…> の理由で： <i>The tower is closed <u>for reasons of</u> safety.</i> 塔は安全上の理由で閉鎖されている。
ランダムハウス	by reason of [or that] ... …の[である]ために、…の[である]ゆえに、…によって： <i>He was consulted about the problem <u>by reason of</u> his long experience.</i> 彼には長い経験があるのでその問題で相談を受けた。	(成句として言及なし)
新英和6	by reason of … …のために、のせいで (because of) <i>It failed <u>by reason of</u> its bad organization.</i> それは組織が悪かったために失敗した。 by reason (that) …であるために、…の故に (because).	for reasons of economy [health] 節約[健康]のために
ウィズダム2	by reason of A ((かたく)) A<事>の理由により	for reasons of A A<事>の理由で
LDOCE5	1 [countable] why something happens, or why someone does something by reason of something formal (= because of something) <i>a person disqualified <u>by reason of</u> age</i>	for reasons of something <i>The bridge is closed <u>for reasons of</u> safety.</i>
OALD7	1 [C] ~ (why ...) ~ (that ...) ~ (for sth / for doing sth) a cause or an explanation for sth that has happened or that sb has done: <i>He was excused <u>by reason of</u> (= because of) his age.</i>	<i><u>For reasons of</u> security the door is always kept locked.</i> (formal)
MED2	(言及なし)	for reasons of economy/ safety/ security etc used for showing why a particular thing is done <i>The design was changed purely <u>for reasons of</u> safety.</i>
COBUILD	6. PHRASE If one thing happens <u>by reason of</u> another, it happens because of it. [FORMAL] <i>The boss retains enormous influence <u>by reason of</u> his position.</i>	(言及なし)

- Longman Dictionary of Contemporary English, Fifth Edition (以下、LDOCE5)
- Oxford Advanced Learner's Dictionary, Seventh Edition (以下、OALD7)
- Macmillan English Dictionary, Second Edition (以下、MED2)
- Collins COBUILD Advanced Dictionary of English (以下、COBUILD)

表1にまとめた辞書の情報を分析すると、2表現の違いについて以下の考察ができる。

1) 日本語訳について

ジーニアス4のように、どちらの表現に対しても「<事>の理由で」と同じ日本語訳をあてている辞書もあれば、ウィズダム2の「A<事>の理由により」と「A<事>の理由で」や、LEJDの「<…>を理由として、のために」と「<…>の理由で」のように、微妙に訳し分けているものもある。しかし、訳が違う場合でも、筆者には、たとえば「理由として」と「理由で」は多分に交換可能の余地があるように思われる。JEJDの例文 *Geiger was found not guilty by reason of insanity.* (精神障害を理由にガイガーは無罪判決を受けた。)においても、「を理由に」の部分、by reason of の訳として提示されている「を理由として」としても、for reason of の訳として提示されている「理由で」としても、大差はないように思える。つまり、訳からだけでは、by reason of を使うべきか、for reasons of を使うべきかの判断は難しいように思える。

2) 類義表現(because of)の記載について

ジーニアス4には2表現のどちらにも (because of) の記載があり、おそらく、その意味するところは、by reason of … も for reasons of … も意味的には because of … とほぼ同じであり、because of … で書き換えの可能性を示唆しているものと解釈できる。一方、新英和6、LDOCE5、OALD7の3辞書では、by reason of のほうにだけ (because of) の記載があり、for reasons of にはその記載はない。しかし、果たして、それが、for reasons of は by reason of と違って、because of の意味ではない、あるいは、because of では書き換えられない、という積極的なメッセージなのかどうかは、筆者には不明である。

3) 表現の正式さ・formalityについて

この点については、かなり辞書によって異なっていて、3つの異なるメッセージが伝えられている。まず、ジーニアス4とLEJDは、両表現に《正式》あるいは《フォーマル》を記載している。しかし、ウィズダム2とLDOCE5は、by reason of にのみ、《かたたく》もしくはformalの記載をしていて、for reasons of にはその記載はない。さらに、OALD7はその逆で、for reasons of にのみ、formalの記載をしていて、by reason of にはformalの記載はない。いずれにしても、言語使用域としての正式さ・formality・かたさというような要因からだけでは、2表現を使い分けることはむずかしいように思われる。

4) of の後に続く名詞句について

of に続く名詞句に注目すると、辞書によって扱いが2種類あることに気づく。まず、ジーニアス、LEJD、ウィズダム2、LDOCE5の4辞書は、2表現とも of 以下の名詞句をそれぞれ "O"、"sth"、"A"、"something" で表わしているため、適当な名詞句が続くということだけで、それ以上の制約の違いは書かれていない。しかし、新英和6は、by reason of X の X 部分は "…" で表記しているのに対し、for reasons of Y では、Y の部分は "…" ではなく、economy と health という特定の名詞が使われている。MED2も、by reason of X への言及はないものの、for reasons of Y の Y には、"economy / safety / security etc." という特定の名詞をあげて、それらを成句の一部として紹介している。おそらく、新英和6と MED2の記述の素直な読みとしては、for reasons of Y の場合の Y の部分は、理由を表わすものならどんな名詞句でもよいというのではなく、economy, health, safety, security などの一部の名詞句に限定されている、ということであろうと筆者は推測する。確かに、他の辞書の例文で Y の部分をみると、health, safety, security の3種類に限られている。一方、by reason of X の X 部分を例文から抜き出すと、his old age/ insanity/ his long experience/ its bad organization/ age/ his age/ his position となる。Y ではみられなかった、代名詞の所有格の使用が目につくが、中には、insanity や age のようにないものもある。

以上の考察をまとめると、今回参照した辞書情報からだけでは、2表現を日本語訳、同義表現 (because of) の記載の有無、表現の正式さ・formality、などの観点から使い分けるとはむずかしいことが明らかになったのではないかと思う。また、of 以下の名詞句の使用制限については辞書によっては、for reasons of の場合のみ、economy, health, safety, security などの名詞句に限られるという使用制限を示唆する辞書もあり、使い分けへのヒントとなる可能性があることも分かったが、仮に使用制限が存在するとしても、その中身についての説明は十分とはいえず、また、辞書によってはそのような使用制限について記述をしていないものもあり、さらなる検証の必要性があることがわかった。

以下では、コーパスデータを基に、2表現の実際の使われ方を分析する。

3. コーパスデータの分析

主に、British National Corpus (以下、BNC) と WordBanks (以下、WB) のコーパスデータを基に [by reason of X] と [for reasons of Y] の2表現の実際の使用実態を考察する。

3. 1 [by reason of X] と [for reasons of Y] の頻度

BNC と WB で "by_reason_of" と "for reasons of" を語句検索すると、表2のような結果となった。

表2 BNCとWBにおけるby reason of と for reasons of 頻度

検索語(句)	BNC	WB	計
by_reason_of ²	327	49	376
for reasons of	213	55	268
計	540	104	644

WBだけをみると、for reasons of (55件)のほうがby reason of (49件)よりわずかに多いが、BNCとWBを合わせると、by reason ofが376件、for reasons of が268件で、by reason ofの方が約6対4の割合で多い結果となった。この結果から、2表現のうち特にどちらか一方だけが多いということも稀ということもないことが推測でき、何らかの使い分けの必要性があると解釈できる。

3. 2 [by reason of X] の分析

辞書データの考察からは、by reason of X のXには代名詞の所有格の使用が目についたものの、名詞自体にはfor reasons of YにおけるYに対するような制約はみられなかった。以下では、BNCのデータを基に、Xにどのような名詞がどのような名詞形で使われているのかを考察する。

3. 2. 1 by reason of 直後の1語(+1 ~ +1)の分析

まず、by_reason_of の直後の1語にどのような語がきているかを調べるため、BNCの語(句)検索でby_reason_ofを検索(表記形検索)した上で、集計範囲を+1 ~ +1にして語(句)集計を行った。表3はその結果をまとめたものである。

表3のデータを見て、以下の考察ができる。

- 1) 定冠詞theが82件で一番多く、全体の25%を占めている。不定冠詞a, anの15件も加えると、定冠詞・不定冠詞で全体の約3割となる。
- 2) 人称代名詞の所有格one'sも多い。their, his, its, our, herを合わせると90件(27.5%)で、theよりも多い。表1の考察でone'sが目についた点と一致する。
- 3) 冠詞がついていない名詞で頻度2以上のものを見ると、age (7件)、insanity (6件)、redundancy (4件)と2件のassignment, race, securityの6つの名詞だけしかなく、頻度も種類も少ないように思われる。

以上の考察から、少なくともBNCデータでは、by reason of XにおけるXの名詞形としてはdefiniteな名詞句と考えられる[the __]と[one's __]が全体の約半数(52.6%)を占めることがわかった。

以下では、まず、特に頻度の高かったby reason of the __ とby reason of one's __ の2つの環境をさらに詳しくみてみる。

表3 BNC by_reason_of の直後の1語 (計327件)

#	頻度	%	by_reason_ofの直後の1語(+1 ~ +1)
1	82	25.08	the
2	30	9.17	their
3	25	7.65	his
4	17	5.2	its
5	15	4.59	any
6	9	2.75	a
7	8	2.45	such
8	7	2.14	age
9	6	1.83	an / being; / insanity / mental / this
14	5	1.53	diminished
15	4	1.22	redundancy
16	3	0.92	having / some
18	2	0.61	(/ assignment / it / our / race / s / section / security / those / which / wilful
29	1	0.31	" / " / actual / adjustment / authority / b / bodily / breach / charges / circulars / circumstances / class / cohabitation / conduct / confidentiality / continuing / criminal / differing / direct / dismissal / duress / earning / employment / endorsement / enjoyment / exceptions / excessive / fixed / force / fraud / granting / her / inadvertence / inferiority / inheriting / injuries / invalidity / knowledge / logical / loss / management / marriage / maternity / my / naming / nationality / noise / notices / obsolescence / other / personal / philips / physical / policies / policy / practical / public / s.2(3) / s.3(2) / sickness / social / spinning / temporary / tenure / there / voluntary / war /

3. 2. 2 by reason of the _ の分析

theの直後の1語にどのような語がきているかを調べるため、BNCの語(句)検索でby_reason_of theを検索(表記形検索)した上で、集計範囲を+1 ~ +1にして語(句)集計を行った。表4は2件以上の頻度の結果をまとめたものである

表4 BNC by_reason_of the の直後の1語 (計82件)

#	頻度	%	by_reason_of the の直後の1語(+1 ~ +1)
1	6	7.32	fact
2	3	3.66	effect
3	3	3.66	fault
4	3	3.66	negligence
5	2	2.44	danger
6	2	2.44	exercise
7	2	2.44	indemnatee
8	2	2.44	life
9	2	2.44	payment
10	2	2.44	scale
11	2	2.44	words

一番頻度が高かったby reason of the factの文をみると、6件ともthe fact that … となっていて、以下のように、いわゆる同格のthat (「何かが ~する/であるという事実」という意味構造) であることがわかった。

[1] There is some doubt about the circumstances of Molla Yegan's death, to which reference will be made in due course, but it may be remarked here that while el-Kefevi is possibly right at least about the rough date of Molla Yegan's death, the slightest suspicion attaches to the basis for his statement by reason of the fact that his words (if not their order) are practically identical with Taskopruzade's statement about the death of Molla Taj al Dīn Ibrahim , known as Khatib-zade (Hatibzade):

[2] The nul curriculum exists by reason of the fact that it does not exist — it is what is conveyed by omission, avoidance, bypassing, as well as by ridiculing, criticizing, and putting-down.

[3] By reason of the fact that Churchill was the great leader.

次に多かったthe effectの文脈は以下のものであった。

[4] Doubts arose over the length of time which might elapse before the child ceased to be regarded as "newly born," and the Infanticide Act 1938 extended the definition to the killing of a child" within twelve months of its birth by a mother whose mind is disturbed either by reason of her not having fully recovered from the effect of giving birth to the child or by reason of the effect of lactation consequent upon the birth of the child.

[5] The Committee was equivocal on this, but recommended a formulation which would be broad enough to encompass these wider factors — "the balance of the woman's mind

was disturbed by reason of the effect of giving birth or circumstances consequent upon that birth” .

[6] (c) Benefits The individual receives or is entitled to receive , at any time, any benefit provided or to be provided out_of that income or out_of monies which are or will be available for the purpose by reason of the effect or successive effects of the associated operations on that income and on any assets which directly or indirectly represent that income.

3件とも the effect のあとには、やはり同格の役割を果たすと思われる、“of something” か “ of ~ ing “ の of 句が続き、the effect of lactation (授乳の影響)、the effect of giving birth (出産することの影響) のように、「何の影響」もしくは「何をすることの影響」を表わす名詞もしくは動名詞が共起していた。

次に多かった the fault も、the negligence の場合も、その直後には” of somebody” の of 句が続き、the fault of the plaintiff (原告の責任) や、the negligence of the Seller (売り手の過失) のように、「誰の責任」「誰の過失」を言語化する名詞が共起していた。

3. 2. 3 by reason of one's _ の分析

by reason of の直後に one's が続く文90件を精査すると、one's のあとの構造としては、[7] [8] のような一般的な名詞が続く場合と、[9][10] のような動名詞 ~ ing が続く場合の2種類があることがわかった。

【一般的な名詞が続く例】

[7] The East Anglians stood out from the local people, both by reason of their speech and their dress .

[8] Moreover, the right hon. Gentleman said in terms that neither Iraq nor Argentina was in any way deterred from attacking British interests by reason of our possession of a nuclear weapon.

【動名詞が続く例】

[9] This section shall not affect any liability incurred by any partner by reason of his having notice of a breach of trust;

[10] In this case that individual shall not be chargeable to tax under s740 by reference to relevant income which is such that if he had received it he would not, by reason of his being so domiciled, have been chargeable to income tax in_respect_of it.

one's の後に一般名詞が続く例を見てみると、their speech (彼らの 話し方) や our possession of a nuclear weapon (我々の 核兵器の所持) のように、「誰の」と「何か」の2項を言語化していることがわかる。一方、動名詞～ingが続く例では、his having notice of a breach of trust (彼が 背任の通知を受けたこと) や his being so domiciled (彼が 支払い所をそのように指定されていること) のように、「誰が」と「何をすること」の2項を表わしている。

3. 2. 4 [by reason of X] のまとめ

コーパス分析から、by reason of X のXの部分については、the もしくは one's が共起する definite な名詞句が約半数を占めていたことがわかった。また、Xの部分の意味構造をみてみると、「何かが ～する/であるという事実」、「誰の 何の影響」もしくは「(誰が) 何をすることの影響」、「誰の 責任」「誰の 過失」というようなものであった。ここから、by reason of X が表現しようとする理由は、「[… が(A)]」「…なので(B)」という、文に展開できる具体的な理由を示す表現なのではないかと筆者は考える。(A)は理由の主部、(B)は述部を示す。)そして、X部分は(A)(B)の言語化の仕方によって、以下のように多様なパターンになると考えられる。

- by reason of **the fact that A is/does B**
- by reason of **the effect of (A's) B**
- by reason of **the effect of (A's) being/doing B**
- by reason of **the fault/negligence (=B) of A**
- by reason of **A's B**
- by reason of **A's being/doing B**
- by reason of **the B of A**
- by reason of **B**

なお、最後のパターンとして (the や one's がついていない名詞が続くパターン) としては以下のような例があるが、

[11] Geiger was found not guilty by reason of insanity. (LEJD)

[12] a person disqualified by reason of age (LDOCE5)

[11]なら、by reason of his age、[12]なら by reason of his or her age と、理由の主部の部分(A)を補って考えることは可能であり、主部を明示する必要がない場合、もしくは明示できない場合には、省略されることもある、と考えれば、the なし、one's なしの名詞が続いた場合も説明が可能なのではないかと考える。

3. 3 [for reasons of Y] の分析

辞書データの考察からは、Yには economy, health, safety, security などの名詞に限られるという

制約情報が一部の辞書にあった。以下では、BNCのデータを基に、Yにどのような名詞がどのような名詞形で使われているのかを考察する。

表5 BNC for reasons of の直後の1語(計213件)

#	頻度	%	for reasons of 直後の1語
1	14	6.57	economy
2	9	4.23	his
3	9	4.23	safety
4	7	3.29	health
5	6	2.82	space
6	5	2.35	cost / her / security / their
10	4	1.88	poverty
11	3	1.41	confidentiality / economic / its / national / political / status / style / the
19	2	0.94	administrative / both / clarity / comfort / commercial / history / hygiene / ill-health / prestige / public / secrecy / simplicity / social / space-saving / speed / state / trade
36	1	0.47	“ / access / age / altruism / anonymity / asset / bounded / business / caprice / catchment / certainty / classification / colour / comparison / compensation / compliance / conscience / conservation / continuity / control / convenience / costumbrism / death / deportment / diagrammatic / domestic / efficiency / either / emotional / er / established / finance / flexibility / genetic / genuine / guilt / historical / humility / ideology / image-building / inefficiency / infirmity / information / inheritance / labour / land / language / limited / literary / litigation / logic / market / military / motivation / network / overall / personal / philanthropy / policy / politeness / poor / practicality / principle / private / professional / protection / publicity / pure / race / record / religion / religious / renewal / rivalry / self-interest / sentiment / sickness / strategy / tact / tactics / taste / this / time / vanity / wartime / which /

* "“" は normalized begin quote mark を示す

表5のデータを概観してまず気づく点として以下があげられる。

- 1) 定冠詞 **the** が少ない。**the** が3件 (1.4%) しかなく、上でみた **by reason of** の直後にくる語では、**the** が約25% を占めていたのとは対照的である³⁾。
- 2) 不定冠詞 **a, an** が1件もない。**by reason of** の場合も15件 (4.6%) と特に多かったわけではないが、0件という結果は注目に値する。
- 3) **one's** が比較的少ない。**his** (9件), **her** (5件), **their** (5件), **its** (3件) で合わせても22件で、全体の10.3%に過ぎない。**by reason of X** の場合は90件 (27.5%) であったのと比べるとその割合はかなり低いといえる。

4) *economy, safety, space, poverty*のように、[\emptyset N] 形の名詞が多い。

以下、Yの部分の構造をより詳しくみていく。

3. 3. 1 [for reasons of one's ___] の分析

BNCの実際のfor reasons of one's ___ の文を精査すると、one's のあとの構造は上で見たby reason of one's ___ のものとはかなり異なることがわかった。22件中18件は以下のような、for reasons of his/her/their/its own のパターンであった⁴。

[13] He was letting her lead for reasons of his own.

[14] For reasons of her own, she wasn't doing that.

[15] An illustration of this came when the Daily Mirror, for reasons of their own, carried a feature article about Oxford United and paid particular attention to Eric — one of the most regular of the chant leaders.

[16] But for reasons of its own, Washington in the end did neither.

この考察から、by reason of one's ___ と for reasons of one's ___ の本質的な違いは、by reason of X においてXがone's ___ の形をとるケースが多く(27.5%)、for reasons of YにおいてYがone's ___ の形をとるケースが比較的少ない(10.3%)という、単なる頻度の問題ではなく、XとYの意味構造の違いにあるという見方の方が妥当と思われる。

3. 3. 2 [for reasons of \emptyset ___] の分析

上の考察の4点目の[\emptyset N] 形の名詞が多いという点は、定冠詞、不定冠詞、one'sが少ないという事実と表裏一体をなす結果と言える。for reasons of の直後([+3 ~ +3])の1語の名詞の中から頻度2以上の名詞を挙げると以下の通りである。

economy, safety, health, space, cost, security, poverty, confidentiality, status, style, clarity, comfort, history, hygiene, ill-health, prestige, secrecy, simplicity, space-saving, speed, state, trade

BNCの具体例を以下にあげる。

[17] For reasons of economy, copies of these Appendices have not been circulated — they are available in the Library .

[18] Lighting in halls, corridors and staircases should be clear and bright for reasons of safety as well as aesthetics.

[19] Ahidjo decided in 1981 that for reasons of health, he would step down from the presidency but remain chairman of the ruling party, the Union Nationale Camerounaise (UNC).

[20] It is impossible for me, for reasons of space, to do more than summarise the most

relevant parts of the judgments of the Supreme Court of Canada.

[21] The Air Force, again for reasons of cost, wants them based at existing missile sites in Wyoming, whence they would flee when a crisis loomed.

筆者がこれらの例を概観した限り、for reasons of Yの大部分は、「Y上の理由で（例：健康上の理由で）」、「Yの関係・都合で（例：紙面の関係・都合で）」、「Yの観点から/Yを優先させる観点から（例：コストを優先させる観点から）」といった、ある判断のごくおおざっぱな“根拠の領域”を名詞1項で示す意味構造のように思える。上にあげた、Yの位置を占める名詞を見渡すと、economy, safety, health, space, cost, security, poverty, confidentiality等、どれも、具体的に何がどうだから、という理由説明ではなく、ある判断を下した際に考慮した、根拠の領域を示すだけにとどまったものように筆者には見える。一部の辞書情報で、Yの部分がeconomy, health, securityなどの一部の名詞に特定されていたことは、根拠の領域となりうる数の限定性と関連しているのではないか、と考える。

by reason of Xの場合は、「誰が(何が)」「～する/～である」もしくは、「誰の」「何か」の2項を言語化することで、「誰が(何が) …なので」という具体的な理由を示しているのと考えたが、その場合、可能な理由の数はほぼ無限に考えられるわけで、特定の名詞に限定できる性格のものではないので、どの辞書もXの部分の占める名詞について一切限定していないのではないかと考えることができる。

3. 4 [by reason of X] と [for reasons of Y] についてのまとめ

[by reason of X] と [for reasons of Y]の違いについての筆者の仮説をまとめると表6のようになる。

表6 [by reason of X] と [for reasons of Y] の違いのまとめ

	by reason of X	for reasons of Y
前置詞	by	for
REASON の名詞形	[ø N]	[ø Ns]
X と Y の主な名詞形	[the N], [one's N]	[ø N]
理由の意味構造	「「… が(A)」「…なので(B)」という、文に展開できる具体的な理由を示す [(A)は理由の主部、(B)は述部を示す]	「(C)上の理由で」 「(C)の関係・都合で」 「(C)を優先させる観点から」のように、おおざっぱな理由の領域を示す [(C)は理由の領域を示す名詞に限定]

<p>言語化の パターン</p>	<p>X部分は(A)(B)の取り込み方によって以下の ように多様なパターになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ by reason of the fact that A is/does B ■ by reason of the effect of (A' s) B ■ by reason of the effect of (A' s) being/ doing B ■ by reason of the fault/negligence (=B) of A ■ by reason of A' s B ■ by reason of A' s being/doing B ■ by reason of the B of A 	<p>Y部分は(C)1項を名詞で表現するだけなので 以下の1パターンのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ for reasons of C
<p>他の表現と の関連</p>	<p>[because A is/does B] か [because of A' s B] に容易に展開が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ by reason of the fact that Churchill was the great leader ■ because Churchill was the great leader ■ by reason of our possession of a nuclear weapon ■ because of our possession of nuclear weapon 	<p>多くは、[for Y reasons]のパターンでも表現 が可能(Yの品詞が必要になる場合もある)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ for reasons of health ■ for health reasons ■ for reasons of safety ■ for safety reasons ■ for reasons of economy ■ for economic reasons

4. まとめ

最後に本稿での考察を踏まえ、辞書記述への提言をしたい。表1の考察から明らかなように、従来の辞書記述では、for reasons of safety [health] など特定の名詞を成句の一部として挙げている辞書が一部あったものの、多くは「～の理由で」の「～の」部分は、「by reason of O」, “for reasons of O” ; “by reason of A” , “for reasons of A” ; “by reason of ...” ; “by reason of something” , “for reasons of something” ; “by reason of sth” , “for reasons of sth” など、“O” , “A” , “...” のような記号、もしくは、“something” かその省略形の “sth” を用いて、ofの目的語(つまり、本稿でいうところのXとY)には単に、“ある名詞句”が続くことだけを示していた。しかし、コーパス分析の結果、XとYとでは、意味構造も名詞形も大きく異なることが明らかになった。本稿の考察から、とりわけ同訳表現については、訳以外の使い分けの拠り所を明記する必要性から、単に前置詞の目的語として“...” や “O” や “something” などで置き換えて表記するのではなく、目的語の部分にどのような意味構造の名詞句が求められていて、どのような名詞形を用いるべきか、の情報も明記すべきではないかと考える。

参考文献

- 井上永幸・赤野一郎 編 (2007) 『ウィズダム英和辞典』第2版. 三省堂.
- 小西友七・南出康世 編 (2005) 『ジーニアス英和辞典』第4版 大修館書店
- 小西友七・安井稔・國廣哲彌・堀内克明 編 (1993) 『ランダムハウス英和大辞典』第2版 小学館
- 竹林 滋 編 (2002) 『新英和大辞典』第6版 研究社
- Procter, P. (ed.) (2009) Longman Dictionary of Contemporary English. Fifth Edition. Longman.
- Rundell, M. (2007) Macmillan English Dictionary. Second Edition.
- Sinclair, J. M. (ed.) (2006) Collins COBUILD Advanced Learner's English Dictionary. HarperCollins
- Summers, D. (2006) 『ロングマン英和辞典』ピアソン・エデュケーション
- Wehmeier, S. (ed.) (2005) Oxford Advanced Learner's Dictionary. Seventh Edition Oxford.

¹ British National CorpusならびにWordBanks のデータ提供元は「小学館コーパスネットワーク」。各コーパスに含まれる総語数は、BNCが約1億語、WBは約5,600万語。

² BNCとWBでは、by reason of は「群前置詞句」(multiwords)の扱いで、by_reason_ofとアンダーバーでつないで表記している。群前置詞扱いされていないby reason ofはBNCで13件、WBで1件あったが、本稿では考察の対象からは外した。

³ BNCでの実際の文は以下の通り。

1. Paragraphs 474–489 of the Latey Report make it clear that doctors felt difficulty in accepting the consent of someone under 21 (the then age of majority) to medical treatment, even though parental consent might be unobtainable or, for reasons of the minor 's privacy , undesirable.
2. The special features of such a protective system , provided for reasons of the vastly increased significance of its failure , thus render it more vulnerable than would otherwise be the case.
3. Similar divisions among the nobility , and the confusion into which it seems to have thrown the English leaders, might well explain why national armies were raised infrequently and achieved little , especially if there was dispute over the best policy to adopt, for reasons of the sort outlined above.

⁴ one's の直後が own でなかった4例は以下の通りである。

1. Only Trethowan's name was omitted, presumably more for reasons of his public reputation as an interviewer and commentator than for any lack of enthusiasm for the Conservative cause.
2. It seems a strange and very unjust decision to pick Jim Courier for reasons of his present ranking but who bears no comparison in performance as a Davis Cup player and, even more

surprising, as he has actually refused to play for the US team recently.

3. For reasons of its very comprehensiveness the book will be of use as a companion for the collector, art historian, student and librarian.
4. But there is a fourth major avenue of current research which, for reasons of its technical complexity, can not be covered in this book.